

2021 年度 総合研究所特別研究員 研究活動報告

氏名	筒井 大祐
研究テーマ	『八幡愚童訓』の生成と展開に関する基礎的研究
研究概要	本研究は、日本文学をはじめ、宗教文化史や歴史学などの学問分野を超えて研究対象となっている、八幡信仰の基礎資料である『八幡愚童訓』のテキスト研究を行うものである。『八幡愚童訓』の関連資料や内容分析を通して、その生成と展開の解明を目的とする。

1. 研究活動の概要と研究成果	<p>本研究は、日本文学を始め、宗教文化史や歴史学など、学問分野を超えて研究対象となっている八幡信仰の基礎資料である『八幡愚童訓』のテキスト研究を、その生成や展開を基に考察しようとするものである。『八幡愚童訓』は、八幡信仰の基礎資料とされながらも、それ自体の生成や展開を検討したテキスト研究は、いまだ十分に行われていない。そこで今年度は、『八幡愚童訓』のテキスト研究で、これまで、その代表的本文として扱われながらも、研究史では等閑視されてきた、石清水八幡宮所蔵の菊大路家本に対する、先行論の通説の誤りを指摘した。この成果は、これまで不十分であった『八幡愚童訓』のテキスト論を発展させるとともに、『八幡愚童訓』に対する本文研究にも寄与するものである。</p>
2. 学術論文・学会発表等	<p>単著「『八幡愚童訓』諸本研究史再考」『佛教大学総合研究所紀要』第29号、pp. 11～19、佛教大学総合研究所（2022年3月、査読有）</p>
3. 今後の課題	<p>今年度に発表した「『八幡愚童訓』諸本研究史再考」で、これまでの『八幡愚童訓』テキストに対する研究史の通説を訂正した。これにより、『八幡愚童訓』の本文研究や諸本論を考察する基礎とできたので、今後は、諸本論や本文研究に取り組んでいきたい。また、『八幡愚童訓』に収斂されない、中世における神功皇后伝承の展開も検討していく。</p>